

たんちゃん

発行日

第 9 8 号

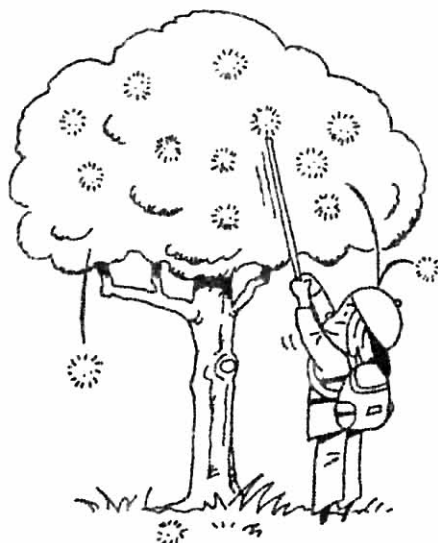
62年10月号

編集発行

釧路地方腎友会

釧路市新富町一番七号

林田クリニック内



◎ 目 次 ◎

・なぜ、年賀状の取扱いか.....	シャント	1
・難病連釧路大会に参加して.....	事務局	2
・「人間の死について」.....	掛札 聖	3
・恒例、秋の一泊旅行に参加して.....	東 哲司	4
・お礼	早坂 要	5
・花火の販売協力ありがとうございました		6
・釧路地方腎友会各病院の近況		7
・クロスワードパズル		8
・講演会・10年表彰について、そのほかお知らせ		9
・年賀取扱い・会員の動向		10

なぜ、年賀状の取扱か・・・？

『56』『1450』『2697』『32 いる、現在の価格と大差ないのにびっくりし
90』『3387』『2910』・・・さて、ています。

これは何の数字かご承知でしょうか・・・？。

大小様々であり、ちょっと検討がつかないと思いますが、これは腎友会で取り扱った年賀状の件数です。

一番前の『56』というのは、10年前に腎友会が始めて年賀状を取扱を開始した、昭和53年における実績で『56』件でした。

その後ろの五つの数字は、昭和58年から昭和62年までの、最近5年間に於ける年賀状取扱実績であります。

さて、なぜ腎友会で年賞状を取り扱うようになったのでしょうか・・・？

患者会が活動を続けるために苦勞するのは、市民の患者会に対する理解を得ることと、資金確保などの問題であります。これらの解決策として、昭和53年から年賀状の取扱を、実施しているものであります。

腎友会では、腎臓病患者の現状・実態・病気の恐ろしさなどを、一般市民に啓蒙しなければならず、その啓蒙する機会とするためと、活動資金を確保するために、年賀状の取り扱いを思い立ったのであります。

年賀状の注文をもらうのに、お客様の所に行った折には、腎臓病の啓蒙を行う絶好の機会です。数多くのお客様にお願いして、腎臓病の恐ろしさを啓蒙し、腎臓病患者を増やさないようにしなければなりません。

最初の年は『56』と非常に少なかったのですが、この頃は会員も少なく、取扱者も役員の方が数人で扱っていたという状況でありました。

ちなみに、昭和53年における価格を見てみますと、

100枚 1色 1800円

2色 2700円

であり、価格については、腎友会で扱って

いる、現在の価格と大差ないのにびっくりしています。

取扱件数について、最近5年間の件数を見て分かるとおり、最初の年と、一番多い昭和60年では、実に60倍にもなっています。最近では、取り扱って下さる会員の方が、100名にもなっています。そして、賢友会の年間における、重要な事業に位置づけられています。

道腎協の会費が、今年から1ヶ月100円アップされました。これについては、会員の方々に負担とならないよう、釧路分の会費を削減して対処しましたが、この状態がいつまで続けられるか心配な一面があります。

今年も年賀状の取扱が、間近に迫っています。どうか、会員各位のご協力によりまして、件数において、新記録達成となりますよう、昨年の注文者、並びに、友人・知人に、今から『声かけ運動』をしてほしいものです。

また、印刷工場での作業をする人が居ないので苦労しています。作業内容は、

- ① マイコンの操作
- ② 注文書の整理
- ③ 完成品の価格付け
- ④ 不明事項の問い合わせ
- ⑤ 各病院の対応
- ⑥ その他

などの作業をして下さる人を探しています。
印刷会社でパートとして採用してもらえますので、希望者がいましたら『上田』までご相談下さい。

シヤント



難病連釧路大会に参加して

事務局 橋本 巖

8月8日(土)～8月9日(日)の二日間にわたって 第14回難病連全道大会が釧路市の福祉会館・公民館等を主会場として開催されました。全道各地から20疾病以上もの団体、ボランティア総勢600名ほどがJR列車をチャーターして、釧路に結集しました。駅での消防音楽隊による歓迎セレモニー。オリエンタルホテルでの歓迎レセプション。疾病別分科会。公民館での全体集会、アビール。湿原観光などなど、盛りだくさんの予定をこなして 成功のうちに終了いたしました。

釧路地方腎友会から上田 弘会長が難病連釧路市支部長ということから現地実行委員長を引き受けられて、数ヵ月前から準備に奔走しておられました。

釧路地方腎友会の三役からも4名ほど実行委員として お手伝いしてまいりました。

この大会が終わってみて思うことは、いかに多くの市民、ボランティアの力が働いていたかということです。老人大学の人たちや、高校生の方々などほんとうにたくさんの人たちに助けてもらっての成功でした。私も実行委員の一人としてお手伝いさせていただきましたが、一番に感じたことは、病状は様々でも、患者さんたちは皆 明るかったということです。病気になったことは もう どうしようもないが、それを いかに克服して 自分の人生をつくっていくかという心が感じられました。この大会のテーマもその辺にあったのだと思います。

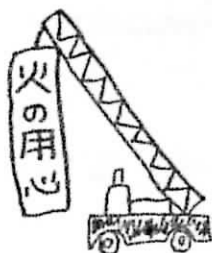
私達の腎臓病も難病の一つです。今回の大会でも分科会を持ちました。この時の分科会では 岩崎 薫 道腎協会長が およそ1時間30分にわたって 透析医療の現状と課題について話してくださいました。また、東京から2名の方が参加され、都心の透析病院の様子について話してくれました。40名ほど参加した釧路地方腎友会の会員も 熱心に聴いていました。

この大会に参加して学んだことを、私達釧路地方腎友会のこれからの活動に生かしていきたいと思います。

最後に、協賛広告、寄付に協力いただいた会員並びに多くの方々にお礼を申し上げ 報告を終わります。

「人間の死について」

林田クリニック 掛札 聖



人の死には様々な死があるだろうと思います。私達人口透析患者でいえば、様々な合併症などにより死に至る場合もあり また、違う観点からは交通事故によるもの、火災によるもの、その他災害によるものなどがあります。今回は 私の仕事上の立場から 火災による死について少し書いてみたいと思います。

銅路市の火災は、全国的にみて 決して多いほうではありませんが、今年9月25日現在の火災件数は88件、死者8名です。死者は昨年同期と比較して6名も多くなっており、このほとんどは焼死、または一酸化炭素中毒死、窒息死によるものです。今年4月10日に美原であった火災では、85歳の老婆が8畳間の和室でテレビを見ながら就寝中に、テレビから火が出て、テレビと畳の一部を焼いただけでほかには燃え移らず 火は自然に消えたのですが、テレビなどから出た一酸化炭素ガスにより中毒死したのです。この火災では、同居の家人が朝になって老婆を起こしにいった初めて火災に気付いたわけですが、今の住宅は密閉度が高いためにこの様な火災も起こりうるのだと勉強させられました。 会員の皆様もこれから晩秋、そして冬へと向かい、火の取扱かう機会も多くなりますので充分気を付けてください。



恒例、秋の一泊旅行に参加して

市立病院 東 哲司

その日、参加者は午後3時過ぎに釧路を元気に出発しました。しばらくするとバスの中では 幹事さん得意のゲーム大会が始まり、ジャンケンゲーム、ビンゴゲーム、最後は品物の重さあてゲームと 参加者全員楽しく盛り上がりました。なお、勝った人には景品がそれぞれ渡されました。そうこうしているうちに、目的地の川湯に バスは無事到着しました。

その日幹事さんが予定していた花火大会が雨のため中止となってしまう、非常に残念だった。それで、各自食事までの一時間、風呂に入ったり、雑談などをして過ごし、食事の時間となり、全員大広間に集りおいしく食べた。落ち着いたところでゲームや歌などで楽しく過ごしました。それが終わると、それぞれに時間を過ぎて寝ました。なお、役員の人達は 帯広、北見、網走などから来ている患者さんたちと5地区交流会を行いました。その内容は 交流ということでゲームが中心でした。まずは、10粒の小豆を右から左の皿へいかに速く移すかというゲームで（先のまるまった箸を使用）釧路のみんなは、豆の扱いに慣れている一人をのぞき入賞者なし。次は細長い紙を二人で引っ張り合い、切れたところで長い方が勝ちというゲーム。これも相手にわざとが多く、一人をのぞき全滅。最後は、皆さんご存じのビンゴゲームである。これは釧路の皆んな経験豊富（旅行のたびにやっている）なので入賞者続出で、やっと気分がよくなった。しかし、会場がほかのホテルだったので帰りはどしゃぶりの中を濡れながらホテルへ戻った。体は濡れて最悪、でも、気分は最高の日だった。

二日目は朝9時に阿寒に向けてホテルを出発。バスの中では阿寒到着時間当てクイズが行われた。全員投票が終わり、あとは結果待ちというところで突然途中工事中の所があり、時間待ちがあるということがわかり、参加者全員が運転手さんに何とか早く行くようにと大合唱となり、思わず笑いがもれた。また、それに答えて運転手さんが最大限の努力をしたもので、今度は予想より早く着きすぎて、早く行っというと人が当たってしまい皆んなにひやかされていました。阿寒に着くと、船に乗ってまりもを見に行く人、ホテルで休憩、風呂に入ってくつろぐ人など それぞれ自由に過ごし、午後2時過ぎ釧路へと向かいました。こうして何事もなく一泊二日の楽しい旅行を終えて帰ってきた。幹事の皆さん本当にお疲れさまでした。来年もまた宜しく願います。

（御礼）

四国に長期滞在の予定にて「釧腎会」を今春退会させていただきました。今は四国に在籍の身です。

8月9日難病連北海道集会在釧路市で開催された折り、腎臓病分科会の席場にて釧腎会会長（上田 弘氏）より「感謝状」を戴きました。感謝状を戴けるような身分ではございませんが、皆様のせっかくのご好意ですので有り難く頂戴いたします。

釧腎会創立以来10年、少しでも皆様のお役に立てばと上田会長を中心に世話をして戴きました。この間、私に英知と力を添えて戴きました役員、会員及び顧問の皆様に敬意を表し厚く御礼申し上げます。市立病院に腎友会が発足（昭和51年11月26日）したのが釧腎会の始まりです。

私はその年の7月に透析を開始しましたが、機械に懸かって半年生きられれば幸と言うのが耳にする情報でした。

毎日と言ってよい程透析の新しい患者さんが入って来ました。又亡くなって行く方も多かったのです。手遅れの人、透析が十分にできない人、食事管理を守れない人、次ぎは自分の番かと不安な日々を送ったものでした。その時、子供は高校生と中学生、社会人となるまで生きていてやりたい、生きたいの一念でした。

晩秋の頃、嬉しい情報を今は亡き杉本婦長より聞く、日進月歩の医学の進歩と透析機械の改良によって、透析を十分に実施し、食事管理を守るかぎり延命を計れると言うのである。その後、一年生きた者は三年生きられる。三年生きた者は五年生きられる等と言われたものです。透析に関する情報が少なく、寄れば食べる話しと、どうやったら長生きすることができるかの話ばかりでした。心配は皆さんたくさん抱えておりましたが、なんと言っても昭和42年に全腎協が誕生し、先輩患者が一生懸命活動したお陰で、身障者の認定、透析医療費の保険適用、透析機械の増設5ヶ年計画等国が理解を示し実施することとなったその恩恵です。お金や機械に心配することなく透析を受けられたことは何よりの安堵（あんど）でした。

今一番大切なことは、患者が一人でも多く会員となって（一丸）全腎協が進めている「腎疾患総合対策」を早く実現することです。達成するまで頑張りましょう。（昭和62年9月 早坂 要）

花火の販売協力

ありがとうございました



8月初めまで御協力いただきました花火の販売結果ができましたので お知らせいたします。おかげさまで 下記のような結果となりました。この収益は特別会計に繰り入れて、各種行事に役立たせていただきます。

§ § 病院別売上集計 § §

病院名	取扱い金額	難病連支払額（手数料）	腎友会純利益
市立	161,500	133,100（2.00）	28,000
日赤	17,500	14,350	3,150
協立	88,000	72,280	15,720
林田	76,500	62,980	13,520
合計	343,500	282,710（4.00）	60,390

※※ 根室・厚岸の扱い分はそのまま厚岸・根室の収入になります。

厚岸 総扱い額 146,000円

根室 総扱い額 85,000円

ソフトボール悪天候のため中止！

8月30日に予定しておりましたソフトボール大会は天気が良くないということで 残念ながら中止となりました。ほかに予定している行事もあることから今年はどうも できなくなりました。来年に期待してください。

釧路地方腎友会各病院の近況

《 林田クリニック 》

- ☆ 現在、患者総数42（長期滞在1名）、月水金 15名・火木土 14名
夜間 13名。最近移植した人3名は 手術も成功して元気で過ごして
います。特に具合の悪い人はいません。自己管理もうまくいっている
ようです。時々、注意されている人もいますよ？
ほかの病院の皆さん元気で頑張っていますか？
水分、塩分に気をつけて頑張りましょう～～。



《日赤病院》

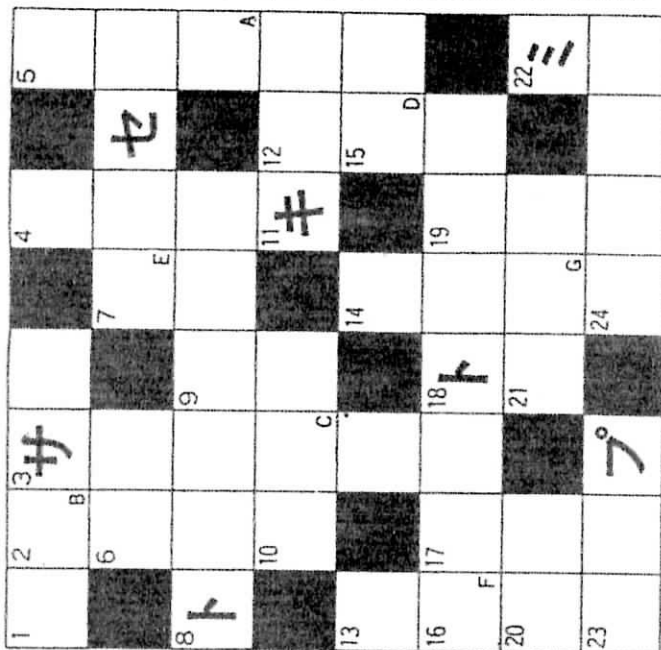
- ☆ 釧路赤十字病院の透析患者、男性13名、女性10名の総勢23名おしま
す。人口透析歴8年3ヶ月の女性の方が一番古く、以下7年6ヶ月、7年
2名の順になっています。年代は、70代4名、60代4名、50代7名
40代4名、30代4名となっており、やや高齢化の我が病院です。
今年の5月以降 新患者は透析導入されていません。透析の時間帯は、朝
10時より針刺しで、皆5時間の透析を受けている（うち5名が3時間透
析）。祝日には透析を行わない病院なので、時々2部透析になることもあ
る。時には中3日あけられることもあり、患者にとっては辛い日々もあり
ます。看護婦さん6名、助手さん1名、器械は11台、酢酸透析で皆一列
に並んで、昼食の時間を除いては、大半寝ていて、雰囲気的には少々暗い
が 日が入ってくるので明るい透析室で 皆頑張って元気でやっています。



トビクルクロスワード

解き方

各マスにカタカナを一文字ずつ入れてください。最後にローマ字のあるマスの七文字をABC順につなぐと、答えの言葉がでます。



マスのカギ

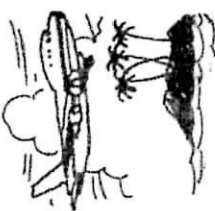
- ①横に四い棒を持っているカキ
- ②三人のすぐれた弟子や部下。
- ③ハワイの有名な海岸。
- ④液体状のフロバングスをついていいます。
- ⑤顔面のことです。
- ⑥野球などの試合のこと。

- ⑦むずかしい打球を——・キャッチー
- ⑧砂漠の中で旅人がホッとすること。
- ⑨ジャリタシにつまもの——ママ。
- ⑩暗殺のことをボウイト——と呼ぶ。
- ⑪アグロの刺身の美味な部分。
- ⑫連続戦勝のこと。
- ⑬運の戦勝機の一環。

ヨコのカギ

- ①ここに一泊させられるのなんてこめんです。
- ②エンビツの——ガホキリ。
- ③逃げる敵を追いかけること。
- ④夫と妻の両方が仕事を担っています。
- ⑤インスタント・コーヒーを飲んで、——のわかる男だなんて感嘆するよ。
- ⑥糖尿病は——に治療しなくては治りません。
- ⑦代議士にとって、大臣の——は魅力らしい。
- ⑧古代ギリシアの哲学者。
- ⑨奈良へ行った人は、こいつにセンベイを与える。
- ⑩多くなると、田月の支払いがきびしいです。
- ⑪西洋料理の吸い物。
- ⑫マルコ・ポーロは日本をこう呼びました。

ヒント
彼女、参加するんだって！



◎正解者の中から抽選で10名に記念品を贈呈します。

◎正解・当選発表は12月号にて

◎締め切りは10月31日まで

◎宛先 釧路市新富町1番7号 林田クリニック内

釧路地方腎友会事務局編集部

※左記に記入の上、郵送または各病院の幹事さんへ。

皆さんの御応募をお待ちしております。

--	--	--	--	--	--	--	--

病院名

氏名

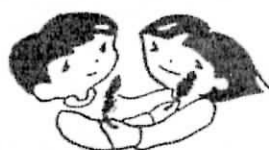
住所

講演会と

10年表彰について

10月4日の役員会（16名参加）の役員会で話合った結果、11月8日（日）に講師を招いて講演会を実施することに決定しました。誰にお願いするかなど詳しいことは決まりしだい 事務連絡でお知らせ致します。

また、今年11月26日で10年を迎える方が9名おられますので、此のときに表彰いたします。通院交通費の支給（市内の方）もあります。



全腎協のテレホンカード

販売します

献腎と資金集めを目的としたテレホンカードを釧路地方腎友会でも販売することになりました。協力いただける方は、各病院幹事さんか釧路会事務局までごれんらくを。

1枚 800円です

国会請願署名と募金のお願い

今年も例年行っている国会請願署名の時期がやってきました。この署名は全国一斉に取り組むものです。これをもとに国会に陳情と請願を行うのです。数がものをいうのです。毎年釧路では50%程度しか上ってきません。100%とはいませんが、募金は無理をしなくても結構ですので署名だけでも上げていただきたいのです。協力をおねがいします。

全腎協分が2枚 （30名分）

全国患者・家族の会分（10名）

- ※ 10名分のほうは30名のほうとだぶっても結構です。
- ※ 1枚10名が全部うまらないではんばになっても結構ですので幹事さんに提出してください。

年賀取扱い始まる

● 会員の動向 ●

11月には年賀ハガキが発売になります。

釧路地方腎友会では例年通り、年賀印刷の
幹旋を行いますので、下記に留意して取扱い
方を宜しくお願い申し上げます。

- 1、先手必勝で………お客さんが外に注文する前にお願いします。
- 2、昨年より1件でも多く注文してもらえよう、友人、知人に電話でお願いしてください。……電話料は釧路地方腎友会が負担します。……通話料を各病院の幹事さんに申し出てください。
- 3、近日中に事務連絡を発行しますので、内容を良く読んで、年賀担当者に負担のかからないよう御協力ください。
- 4、見本帳は近日中に完成します。
- 5、チラシ形式の見本も作成していますので有効に御活用ください。
- 6、注文書は内容を良く確認してからもらってください。
- 7、基準価格は昨年同様です。

○新患者

・羽田 弘太郎

釧路市

・佐藤 征一郎

市

・島貫 トメ

路市

・浮田 スイ

標津町

・村上 春子

厚岸町

・民安 トキエ

釧路市

・松川 通彦

厚岸町

1色 50枚 1800円
100枚 2000円



○変更事項

- ・小野 次男・厚岸町立病院・9月10日死亡
- ・塩田 恵子・市立病院・9月11日死亡
- ・田口 邦雄・市立病院・9月25日死亡
- ・藤野 守・市立病院・10月4日死亡

